

奥矢作の学びスポット

矢作タグムを見に行こう!



今だけ限定!
完成50周年記念の
ダムカードをゲット!

西三河の暮らしを支える 矢作ダムの五つの役割

事前予約でいざ見学へ

豊田市を流れる矢作川の上流、岐阜県恵那市との県境にある「矢作ダム」。豊かな自然に囲まれたこのダムは、着工から約5年もの歳月

矢作ダムをもっと知りたいという方は、事前の申し込みで、ダム内観を見学することができます。平日は開催されていない見学ですが、

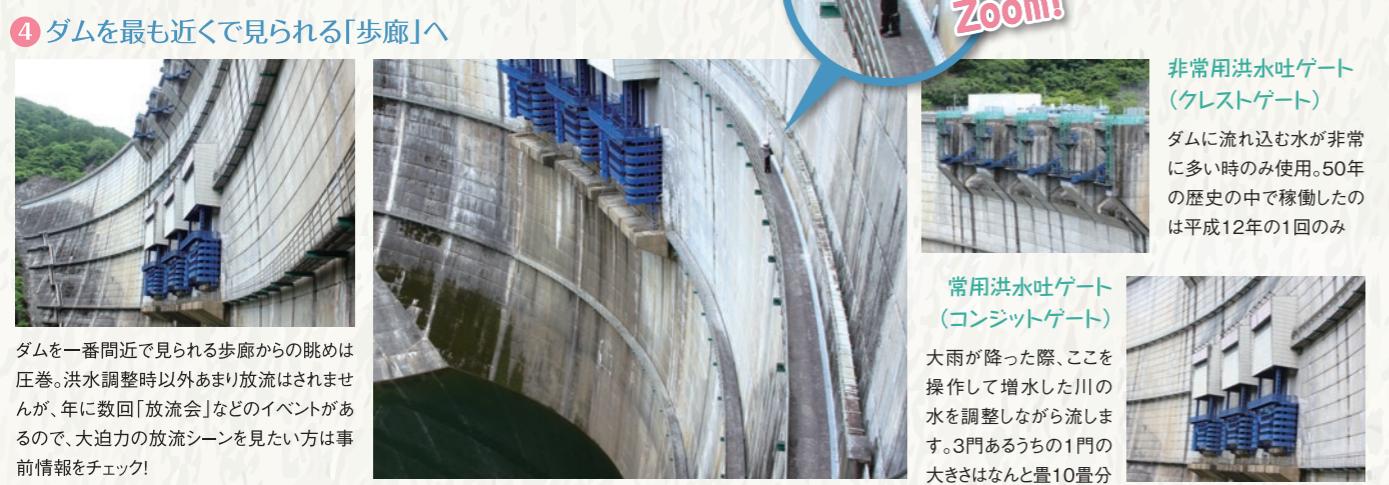
をかけ、昭和46年に完成。昨年は、
節目となる完成50周年を迎えまし
た。矢作ダムは水が押す力を両側
の岩盤で支えるために、ダム全体が
放物線を描くような形をした
「アーチ式コンクリートダム」に分類
されます。周囲を山々に囲まれた大
自然の中、人吉湖である「奥矢作

まずは管理所1階で映像を見ながら、矢作ダムの概要や役割をレクチャー。室内にはダムに関する様なパネルが展示されているので、興味深く学ぶことができます。矢作ダムの基礎知識を学んだところで、実際で職員が働く「操作室」へ。

湖」を背にした景観は奥矢作アリ
アのシンボルに。
最大で6500万m³、ナゴヤ
ドーム約52杯分もの水を貯める
ことができる奥矢作湖を貯水池に
もつ矢作ダムの役割は、大きく分
けて5つ。私たちが住む西三河エリア
ア約100万人の「水道用水」を
はじめ、「工業用水」や「農業用水」
としての役割を担う一方、ダムから
水を放流する力を利用した「発
電」も行います。また、最も重要な
ある洪水被害から地域を守るために
の「洪水調整」としても大活躍。こ
れらの大切な役割をもつ多目的ダ
ムとして、私たちの暮らしを支えて
います。

きな窓からダムを見渡せる管理室の2階にあり、モニターやいろいろな計測機器が設置されたこの部屋はまさにダム施設の心臓部。ダムの遠隔操作はもちろん、奥矢作湖や矢作川、気象状況を24時間体制で監視しています。ところどころに職員が手作りした説明パネルもあるのでお見逃しなく。

そしていよいよ見学の醍醐味であるダムの堤体内へ。見学者用の安全靴とヘルメットを装備してエベーターに乗り込み、約60m地下に下降。アーチ型のダムを支える岩盤廊など内部には、トンネル状の監査廊がずっとと先まで続いています。様々観測機器が設置されたダムを内部



この場所からの撮影は特別な許可をもらっています

ダムを一番間近で見られる歩廊からの眺めは圧巻。洪水調整時以外あまり放流はされませんが、年に数回「放流会」などのイベントがあるので、大迫力の放流シーンを見たい方は事前情報をチェック!

た1度だけ、使用されたそうです。

約1時間の矢作ダム見学は、巨大なダムを間近で見たり、内部に入る貴重な体験ができるのはもちろん、私たちの暮らしに欠かせないダムの役割をきちんと学べることがなにより魅力。緑の自然に囲まれた巨大なダムの見学は、ダム好きはもちろん、大人も子どもも楽しめるはず。夏休みのおでかけに、楽しく学べる矢作ダムに、足を運んでみませんか。

A large concrete dam wall with several blue cylindrical structures attached to its side.

ダムを一番間近で見られる歩廊からの眺めは圧巻。洪水調整時以外あまり放流はされませんが、年に数回「放流会」などのイベントがあるので、大迫力の放流シーンを見たい方は事前情報をチェック!

た1度だけ、使用されたそうです。

約1時間の矢作ダム見学は、巨大なダムを間近で見たり、内部に入る貴重な体験ができるのはもちろん、私たちの暮らしに欠かせないダムの役割をきちんと学べることがなにより魅力。緑の自然に囲まれた巨大なダムの見学は、ダム好きはもちろん、大人も子どもも楽しめるはず。夏休みのおでかけに、楽しく学べる矢作ダムに、足を運んでみませんか。